

2019年度 大新小学校 学校運営計画書（スクールプラン）

校長名 村上 和彌

作成日 2019年 5月 8日

和歌山市学校教育指針

- 確かな学力の育成
- 道徳教育の充実
- 健やかな体の育成
- 特別支援教育の推進
- 不登校・いじめ問題の解消
- 子どもの安全確保の徹底
- 地域と共にある学校づくりの推進

保護者・地域の願い

- 健康な体で、勉強やスポーツなどで、いろいろなことを吸収してほしい
- 学びを楽しみと感じるようにしてほしい
- 様々な情報発信を通して、開かれた学校を進めてほしい

【学 校 教 育 目 標】

豊かな情操とまろやかな英知を育み、たくましく生きる子どもを育てる

【めざす児童像】

- ・生命を尊重し、思いやりのある子ども
- ・楽しみながら、主体的に学ぶ子ども
- ・健康で、やる気のある子ども

前年度の学校評価

- 小規模校ならではの、一人一人に目の行き届いた指導がなされている
- 引き続き、地域の方々との交流、情報発信に努めていただきたい

児童の実態

- 素直で優しい子が多く、学年を超えて友達関係が構築されている
- 自分の役割を最後まで責任を持って取り組めるが多い
- 自ら考えて、積極的に行動できる子どもが少ない

重点目標

確かな学力の向上

- ◎子どもの学びや理解を大切にしたい授業づくり
- 書く活動の推進
- 読書活動の推進

豊かな心の育成

- ◎道徳、人権教育の充実
- やさしさ、思いやりを持った子どもの育成

健やかな体の育成

- ◎気力・体力の充実した子どもの育成
- 健康・安全についての知識と習慣の習得

地域とともにある学校

- ◎学校の情報公開の推進
- 保護者や地域、関係機関との協力・連携の深化
- 学校運営協議会制度の活用

具体的な取組

- 主体的・対話的な深い学びを大切にするとともに、子どもの考えを生かす指導法の工夫
- 自分たちの考えを出し合い、高め合える授業の実践
- うちどく図書や図書コーナー、図書室の本を利用し、学校全体で積極的な読書活動の推進

- 道徳的実践力を身に付けさせるための道徳の時間等の充実
- 全校で人権意識を高めるため、人権をテーマにした授業を参観日に実施
- やさしい心根を育成するため、全校縦割り（なかよし）活動、青少年赤十字活動の取組を実施

- 健康維持及び体力の向上を目指し、年間を通じての朝マラソンやなわとびの取組
- 手洗いとうがい、食後の歯磨きの習慣化
- 生活リズムの安定を図るため、基本的生活習慣の確立

- 学校・学年だよりや学校ホームページ等を活用した情報の積極的な発信
- 大新太鼓、読み聞かせ等、学校ボランティアやゲストティーチャーの積極的な活用
- 大新クラブ等、地域のとの積極的な交流の推進

指標

- ・県学習到達度調査における基礎の正答率について県平均を目指す。
- ・児童アンケートの「私は毎日の勉強がわかる」の項目で「あまりそう思わない」0%

- ・児童アンケートの「私は学校が楽しい」の項目で「あまりそう思わない」0%
- ・保護者アンケートの「生命の大切さや社会のルールを守る態度の教育」で「そう思う」40%

- ・スポーツテストの「シャトルラン」の項目で県平均を上回る
- ・保健室が実施する元気大作戦（生活アンケート）で運動や体を動かす遊びの達成率90%

- ・保護者アンケートの「学校の様子を、わかりやすく伝えている。」の項目で「そう思う」40%
- ・地域や公民館などと連携した取組を、各学年1つ以上実施

◎：特に重点的に取り組むこと